



KAGOSHIMA

# バリアフリー最前線

Barrier Free-Saizensen

鹿児島のいろいろな建物や施設、あるいは人の心の中にあるバリアが取りはらわれています。一人ひとりが、より快適で自由な暮らしが営めるように。

人にやさしい港を目指して  
海の玄関口をリニューアル

## 鹿児島港 新港区

(鹿児島市)

鹿児島県土木部港湾空港課  
tel.099-286-3645



利便性と安全性が増した鹿児島港新港区



フェリーへと繋がるボーディングブリッジ(搭乗橋)



駐車場とターミナルの間に架かる歩道橋

●鹿児島港新港区は、奄美・沖縄航路のフェリー、や種子島航路の貨物船が発着し、年間約15万人の乗客が利用する海の玄関口です。しかし旅客待合所などの施設は老朽化し、フェリーの乗降はフオーライフトやトラックが行きかって荷役作業を行うふ頭を通り抜け、なにかつ船の乗船口へと繋がる急で不安定なタラップを上り下りする状況でした。今回の改修工事により、身障者用スペースを設けた駐車場、バリアフリーのエレベーターを備えた歩道橋、県産のリフトやトラックが行きかって荷役作業を行うふ頭を通り抜け、なにかつ船の乗船口へと繋がる急で不安定なタラップを上り下りする状況でした。今回の改修工事によ

り、木材を使用した開放的な旅客合所、ターミナルとフェリーを待合所、ターミナルとフェリーを繋ぐボーディングブリッジ(搭乗橋)、多目的トイレなど、施設のバリアフリー化が数多く実現されています。平成26年3月に供用を開始した耐震強化岸壁やボーディングブリッジは鹿児島港初の施設。乗客と貨物を分離することで安全・快適な乗降を実現しました。錦江湾に浮かぶ桜島を前に、今日も多くの乗客を乗せたフェリーが汽笛を鳴らして出航します。

障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会を目指し、障害者に対する理解促進を図るための「心の輪を広げる体験作文」と「障害者週間のポスター」を、内閣府並びに都道府県及び指定都市の共催で、毎年度公募しています。

「問合せ先」 鹿児島県保健福祉部障害福祉課  
TEL 099-286-2760

# 障害者理解促進事業

## ～心の輪を広げる体験作文～

### ○鹿児島県最優秀賞／小学生部門

作品名「ぼくのおじいちゃん」

鹿児島市立谷山小学校3年

たいら  
平 晴登 さん

### ○鹿児島県最優秀賞／中学生部門

作品名「Tシャツ」

鹿児島市立明和中学校1年

さかきま  
榎間 若奈 さん

### ○鹿児島県最優秀賞／高校生部門

作品名「理解すること」

鹿児島県立鹿児島工業高等学校3年

じょうがさき  
城ヶ崎 廉 さん

## ～障害者週間のポスター～

### ○鹿児島県最優秀賞／小学生部門

作品名「どうぞ！！」「ありがとう」

鹿児島市立坂元小学校5年

ふるかわ  
古川 花菜 さん

### ○鹿児島県最優秀賞／中学生部門

作品名「命の重さはみんないっしょ」

鹿屋市立第一鹿屋中学校1年

くらかけ  
鞍掛 由季奈 さん

※受賞者の写真は  
「平成26年度鹿児島県障害者  
保健福祉大会」でのものです。

